

**(20) 大学評価委員会****① 設置の趣旨（目的）及び組織****ア 組織設置の趣旨（目的）**

大学評価委員会は、本法人の組織・運営の状況及び教育研究活動等の状況について自己点検及び評価等を行うことを目的として設置されている。

**イ 組織の構成及び構成員等**

大学評価委員会は、評価担当の副学長を委員長として、学校教育実践研究センター長、各学系及び専攻から選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。）、学長が指名した附属学校長、事務局長及びその他学長が指名した者若干人で組織されており、平成28年度は計13人の構成とした。

**② 運営・活動の状況****ア 委員会等の開催状況**

平成28年度においては、以下のとおり4回開催した。

- ・ 第83回 平成28年5月12日（木）
- ・ 第84回 平成28年6月2日（木）
- ・ 第85回 平成28年12月20日（火）
- ・ 第86回 平成29年2月28日（火）

**イ 審議された主な事項**

平成28年度は主に以下の事項について審議した。

- i) 平成27年度及び第2期中期目標期間の業務実績に関する評価
- ii) 平成28年度競争的教育研究資金の配分基準
- iii) 各事業年度の業務実績に係る自己点検・評価実施要項
- iv) 平成27年度における各教員の教育・研究活動及び社会との連携に関する自己点検・評価
- v) 平成29年度に係る学内自己点検・評価実施計画

**ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等**

平成28年度は、平成27年度及び第2期中期目標期間の法人評価に関する実績報告書の取りまとめを重点的に取り組んだ。また、第3期中期目標期間の法人評価に対応するため、各事業年度の業務実績に係る自己点検・評価実施要項の見直しを行った。

**③ 優れた点及び今後の検討課題等**

優れた点として、各事業年度の業務実績に係る自己点検・評価実施要項を見直し、年度計画の進捗状況の判断理由について、評価指標や裏付けとなるデータを示す等、具体的かつ明確に記述するよう改善したことが挙げられる。

今後の検討課題として、各実施組織による各事業年度の業務実績に係る自己点検・評価において、年度計画の実施状況が評価指標に則して明確に記載されるよう一層の工夫が必要である。